

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 640 2021年 2月号 1部60円 友の会会員は会費に含まれています 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

職員全体で感染対策に奮闘しています

代々木病院の感染対策

代々木病院では、昨年の新型コロナウイルス感染拡大の兆候があった早い段階から、毎日感染対策の会議を持ち、病院の事業継続計画の策定や感染マニュアルの整備を行ってきました。この間の代々木病院の感染対策の主な取り組みについて、代々木病院の鈴木海看護部長からご紹介します。(編集部)

入院・外来

1日2回のアルコールでの環境整備、複数回の換気などの対策、院内アナウンスで患者さん、職員に注意喚起を行っています。病院内に入られる方には本館、東館の入口にあるサーモグラフィでの検温と手指消毒、マスク装着をお願いしています(写真①)。

在宅医療

7月からはPCR検査、マスク、手袋、手指消毒など感染予防を徹底しながら訪問しています。発熱のある方には事前に



写真①病院玄関では、サーモグラフィによる検温、アルコール消毒液で手指消毒とマスク装着をお願いしています

外来では待合でのソーシャルディスタンスを保つために、座席の間隔をあける工夫など行っています(写真④)。

職員の感染対策

お電話をいただき、訪問の順番を調整するなど対応しています。この間、病院に来院し、受診することが心配



写真②③発熱のある方、濃厚接触の可能性のある方の外来用待合ブース。通常受診者とは時間・場所を分けて対応します

毎日の健康観察を実施しています。また、休憩のとり方、会議の持ち方など密にならないように工夫しています。それまでの生活様式を変え、感染しない、させない行動をするように意思統一して実践しています。



写真④外来待合室の座席。席は間隔をあけてご利用いただいています

1月7日に再び緊急事態宣言が発出されました。皆様も今はじっとがまんの時、感染が収束し、また元気に楽しく集える日を目標に一緒に頑張ってください。

インフルエンザワクチンまだ接種できます

まだ接種していない方、二回目接種ご希望の方は接種いただけます。新患・ご家族のみでも接種できます。ご希望の方は、お電話にてお問合せください。代々木病院

千駄の萱

明るい話題で始めましょう。1月22日 ついに核兵器禁止条約が発効されました

た。批准国51、政府の署名した国86の到達です。昨年、国連ではさらに署名・批准を求める決議をあげています。しかし日本国連で日本政府は1994年から核廃絶決議案を提出し、採択されてきました。ただしその内容は「NPT再検討会議で過去に合意された措置を」履行することを削除し、何よりも核兵器禁止条約をまったく言及しない内容でした。核保有国の立場に近くような決議案です▼決議案にある文言が核兵器廃絶から後退する中で、共同提案国の数は減り続け、2016年には109ヶ国から2019年には56ヶ国に、そして昨年は20ヶ国に半減しました▼決議案に対する各国の反応も厳しい。「核兵器禁止条約の位置づけを下げる」「残念ながら日本の決議案は志が足りない」「NPTに関する合意を弱めるものだ」と痛烈です▼日本政府の姿勢を正させるのか、それとも条約に署名し批准する政府を選ぶか、考えながら前を向いて歩いて行きましょう。(み)